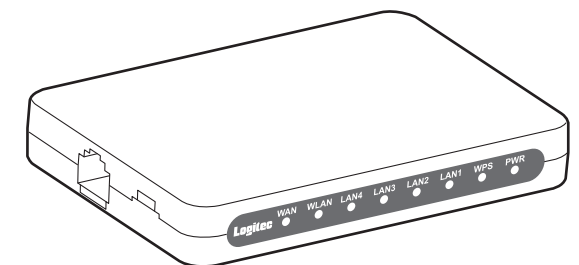
Wireless Broadband Router

超小型無線LANルータ

LAN-W300N/PR5 series

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「セットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANブロードバンドルータ「LAN-W300N/PR5シリーズ」を「本製品」と表記しています。
11n、11g、11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	「無線LANブロードバンドルータ」を略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

超小型無線LANルータ

LAN-W300N/PR5 series

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANブロードバンドルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには無線LANブロードバンドルータを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線ブロードバンドルータを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
- 高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- 直射日光のあたるところ
- 平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- 静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

- 本製品を分解したり、改造すること
- 本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
- 本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために …… 4

Chapter 1　概要編　7

1 製品の保証について …… 8
2 サポートサービスについて …… 9
3 本製品の概要について …… 10
本製品の特長 …… 10
本製品の動作環境 …… 11
4 各部の名称とはたらき …… 12
5 設定ユーティリティについて …… 14
6 セットアップを始める前に …… 15
接続事業者との契約状況を確認する …… 15
ブロードバンドモデムのタイプについて …… 16
設定に必要なプロバイダ情報を用意する …… 16

Chapter 2　導入編　17

1 使い方を選びます …… 18
2 本製品をつなぐ …… 19
セットアップを始める前に …… 19
本製品をインターネット回線につなぐ …… 20
3 無線子機または有線LANから接続する …… 21
接続タイプを選択する …… 21
パソコンに内蔵の無線LAN機能を使う …… 22
ロジテック製のWPS搭載無線子機を使う …… 30
他社製の無線子機を使う …… 34
本製品を有線LANで使う …… 34
4 インターネットに接続する …… 35
5 ホテルなど外出先のLANポートを利用する …… 40
LANポートに本製品をつなぐ …… 40

Chapter 3　詳細設定編　43

1 動作モードを変更する …… 44
2 設定ユーティリティ画面について …… 45
設定ユーティリティ画面を表示する …… 45
設定ユーティリティ画面の内容 …… 46
3 インターネット接続ウィザード …… 47
4 無線設定 …… 48
基本設定 …… 48
無線LANの上級者向け設定 …… 50
アクセスコントロール …… 51
WPS機能の設定 …… 53
5 セキュリティを設定する(無線の暗号化) …… 54
WEPの設定 …… 54
WPA-PSK/WPA2-PSKの設定 …… 57
6 有線設定 …… 60
LAN側設定 画面 …… 60
WAN側設定 画面 …… 61
7 ファイアウォール設定 …… 64
MACアドレスフィルタ 画面 …… 64
8 管理ツール …… 66
機器のステータス 画面 …… 66
統計 画面 …… 68
ログ 画面 …… 69
ファームウェア更新 画面 …… 70
設定保存/読込 画面 …… 71
パスワード設定 画面 …… 73
9 ログアウト …… 74
ログアウト 画面 …… 74

Appendix　付録編　75

1 こんなときは …… 76
2 パソコンのIPアドレスの確認方法 …… 78
パソコンのIPアドレスを表示する …… 78
3 基本仕様/おもな初期値 …… 80

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

保証規定は、本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」の「保証規定」に記載されています。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」に記載されている「保証規定」をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」に記載されている「保証規定」をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話でご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

サポートページ　6409.jp

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060

受付時間：月曜日〜土曜日 10:00〜19:00
（ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

テクニカルサポートにお電話される前に

テクニカルサポートにお電話される前に、以下の項目について確認してください。
◆サポートページで「よくある質問」をご確認ください。
◆「よくある質問」をお読みいただいても解決しない場合は、以下をご用意のうえ、お電話をお願いします。
・製品の型番
・インターネットの回線種類、契約会社（プロバイダ）の書類、モデム（またはCTU、ONU）の型番などインターネットに関する情報
・ご質問内容（症状、エラーメッセージ、やりたいこと、お困りのこと）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●Wi-Fi接続設定に特化したシンプルな製品

ルータ機能をシンプルにすることで、リーズナブルな価格を実現。手軽にWi-Fi接続によるインターネット環境を手に入れることができます。付属の紙版マニュアル「セットアップガイド」には、スマートフォンやゲーム機からのWi-Fiおよびインターネットへの接続手順が最優先に記載されており、どなたにでも簡単に設定ができます。

●手のひらサイズのUSB電源対応、超小型無線ルータ

LAN-W300N/PR5シリーズは、「幅107.5mm×奥行68mm×高さ13.5mm」「質量：75g」という超小型サイズの無線ルータです。USB給電に対応しているため、USB給電ケーブルとiPhoneなどに添付されているUSB給電のACアダプタをご用意いただければ、そのまま本製品の電源としても利用できます。無線ルータ用にACアダプタを持ち運ぶ必要がなく、より気軽に携帯できます。

●IEEE802.11nに対応し最大300Mbps（理論値）での接続が可能

IEEE802.11nに対応し、無線LANで最大300Mbps（理論値）という高速なデータ通信が可能です。従来のIEEE802.11gの54Mbpsに比べ倍以上の転送速度を誇ります。伝送距離も長く、幅広い環境で安定した通信が可能です。

●ボタンひとつで設定が完了する「WPS」機能にも対応

ボタンを押すだけで本製品と無線子機が接続できる「WPS」機能に対応しています。セキュリティ設定が必要な場合でも、1度本製品に設定すれば、WPSボタンを押すだけで無線子機と接続できます。「PIN方式」での設定も可能です。

●パソコンとゲーム機などでセキュリティ設定を区別できる「マルチSSID」搭載

2つのSSIDを登録し、同時に使用できる「マルチSSID」に対応しています。SSIDごとに異なるセキュリティレベルを設定できますので、パソコンと通信するSSIDはWPA2-PSKを、家庭用ゲーム機などと通信するSSIDはWEP128bitというように分けることができます。

●ルータモード⇔APモードの切り替えが可能

ルータ機能を無効にする「APモード」を搭載しています。本体側面にある切替スイッチを使って、モードを選択するだけで切り替えることができます。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7（～SP1・64/32bit）/Vista（～SP2・64/32bit）/XP（～SP3）/2000（～SP4）を搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.4～10.6）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMacマシン 各種iPhone（3GS、4等）、iPod touch、iPad 各種Androidスマートフォン（Galaxy S、IS03等） 各種AndroidスレートPC（Galaxy Tab等）
対応ブラウザ（Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 6以降

4 各部の名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	WANランプ（青色）	点灯：WAN側とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
②	WLANランプ（青色）	点灯：WAN側とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
③	LANランプ1〜4 （青色）	パソコンと有線LANで接続しているときに点灯または点滅します。 点灯：パソコンとリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
④	WPSランプ（赤色）	点滅：WPS機能が動作中です（約2分で消灯します）。 消灯：WPS機能を使用していません。
⑤	PWRランプ（青色）	点灯：本製品の電源が入った状態です。
⑥	電源ジャック（DC IN） miniUSB/microUSB	付属のACアダプタを接続します。また、別売のUSB（A）-USB（miniB）ケーブルまたはUSB（A）-USB（microB）ケーブルを使うことでUSBポートを持つ機器（パソコンやTV、ゲーム機など）から給電することもできます。
⑦	LANポート1〜4 （黒色）	有線LANに対応したパソコンを接続する場合や、本製品の詳細な設定を行う際にパソコンをLANケーブルで接続するポートです。
⑧	WANポート（青色）	本製品とモデム（またはONUやCTU）をLANケーブルで接続するポートです。
⑨	モード切替スイッチ	本製品をルータ（Router）モード、APモードの2つのモードから選択してお使いいただけます。初期値はルータモードです。
⑩	WPS/Resetボタン	1〜2秒間押すとWPSランプが点滅し、WPS機能が実行されます。 5秒間以上押して離すと、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。 WPSランプが点灯している間は、電源を切らないでください。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続するか、無線LANでパソコンから本製品にアクセスできるようになっている必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P45「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。

メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→P47）
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定（→P48）、上級者向け設定（→P50）、セキュリティ設定（→P54）、無線アクセスコントロール（→P51）、WPS設定（→P53）があります。
有線設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN側設定（→P60）、WAN側設定（→P61）があります。
ファイアウォール設定	クライアントのMACアドレスを使ってアクセスをコントロールする「MACアドレスフィルタ」の設定ができます。（→P64）
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス（→P66）、統計（→P68）、ログ（→P69）、ファームウェア更新（→P70）、設定保存/読込（→P71）、パスワード設定（→P73）があります。
ログアウト	現在のログインユーザからログアウトします。（→P74）

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合はNTTとのご契約とは別にプロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定には、無線LANまたは有線LANで本製品に接続できるパソコンが必要です。無線子機については、ドライバのインストールを完了しておいてください。

ブロードバンドモデムのタイプについて

本製品は、ルータに無線LAN機能を搭載した無線ルータです。現在、プロバイダから提供されるブロードバンドモデムの中には、すでにルータ機能が内蔵されている製品があります。ルータ機能がすでにある場合、ご使用の環境条件によっては、本製品を「APモード」に変更する必要があります。ただし、通常は本製品の動作モードを変更する必要はありません。

プロバイダより、以下の指示があった場合、またはブロードバンドモデム内蔵のルータ機能を使用したい場合や、本製品をAPモードで使用したほうが、より良い性能を発揮できる場合などは、本製品の設定ユーティリティで「APモード」に変更してください。

◆プロバイダからの指示

・ルータ機能を無効にする
・無線アクセスポイント（無線ハブ）として使用する
・ブリッジ接続で使用する

APモードへの変更方法は、P44「1.動作モードを変更する」をお読みください。

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品からインターネットに接続するには、あらかじめご契約済みのインターネット回線の種別を調べておく必要があります。プロバイダからの提供された資料を確認するなどして回線種別をご確認ください。また、ご利用のプロバイダにより、ユーザIDとパスワードが必要になります。あらかじめ書類をご用意ください。

※プロバイダにより、認証ID（ユーザー名）、認証パスワード（アクセスキー）などと記述してあります。

●APモードでご使用の場合

ブロードバンドモデムに搭載されたルータ機能を使用するため、インターネット接続に関する設定は不要です。無線接続の設定だけをおこなってください。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

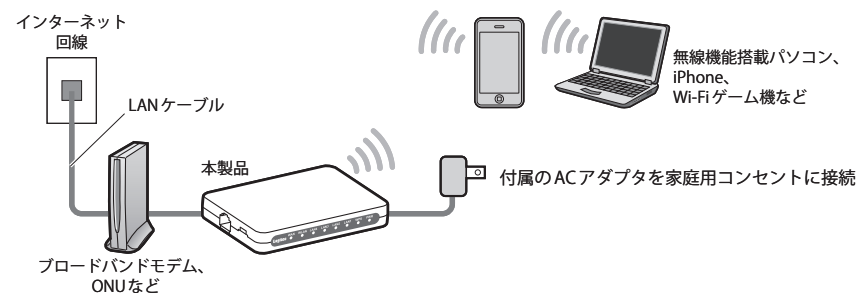
無線LANおよびインターネットに接続する手順については、本製品に添付の別紙「セットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。

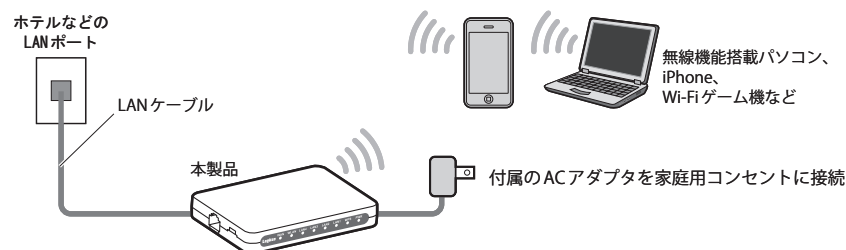
「セットアップガイド」の説明書が見つからない場合は、ロジテック ホームページからもダウンロードできます。

1 使い方を選びます

本製品を使用する環境を確認します。設定の手順は、本製品に付属の紙版マニュアル「セットアップガイド」に詳しい手順があります。そちらをお読みください。

●自宅のブロードバンドモデムやONUに接続し、パソコンなどからインターネットに接続する場合は、P19「2. 本製品をつなぐ」へ進みます。

初期設定にはパソコンが必要です。パソコンを使ってインターネットに接続できるようにしたあとで、スマートフォンやWi-Fiゲーム機での接続作業をおこなってください。

※別売のUSB給電ケーブルをUSBポートやUSB給電ACアダプタにつなぐことで、電源を接続することもできます。（iPhoneの充電ACアダプタが利用できます。）

●ホテルなど外出先のLANポートに接続し、パソコン、スマートフォン、Wi-Fiゲーム機などのWi-Fi（無線LAN）機能を使って、インターネットに接続する場合は、P40「5. ホテルなど外出先のLANポートを利用する」へ進みます。

※別売のUSB給電ケーブルをUSBポートやUSB給電ACアダプタにつなぐことで、電源を接続することもできます。（iPhoneの充電ACアダプタが利用できます。）

2 本製品をつなぐ

ご自宅などのインターネット回線と本製品を接続し、無線ルータとして使用します。パソコンから本製品に無線LANまたは有線LANでアクセスし、インターネットに接続します。

セットアップを始める前に

1 インターネットが開通しており、本製品がない状態でもパソコンとモデム（その他ONU等）をLANケーブルでつないだ状態で、Webの閲覧やメールの送受信ができることをご確認ください。

本製品を使わずにインターネットに有線で接続できない場合は、まずプロバイダ業者様へご相談ください。本製品は、モデムやONUの代替になるものではありません。

2 モデムやONUからLANケーブルをはずします。

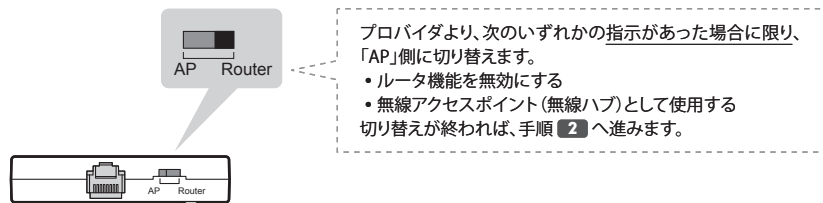
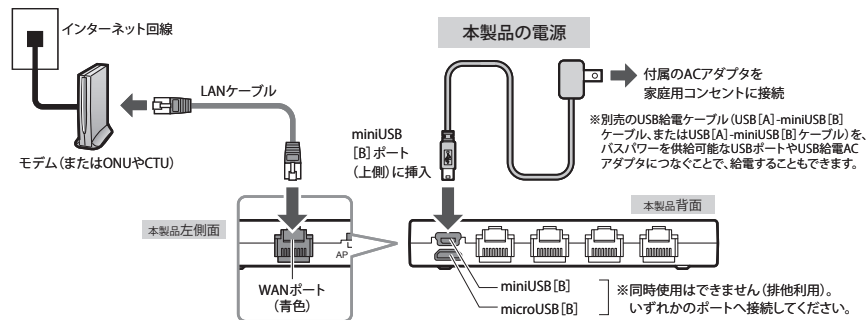
3 モデムやONUの電源を切ります。

・電源スイッチがない場合は、電源コードやACアダプタをいったん外してください。

機器によっては、LANケーブルを抜いた状態で電源を切っておかないと、本製品を認識できない場合があります。約1時間放置してから 4 へ進んでください。

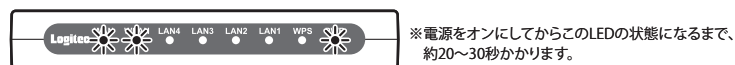
4 次の「本製品をインターネット回線につなぐ」へ進みます。

本製品をインターネット回線につなぐ

1 **本製品の電源を切った状態で、モード切替スイッチを「Router」側に設定します。なお、本製品の初期値は「Router」です。**

2 **イラストを参考に本製品をつなぎます。**

❶ モデム（またはONUやCTU）と、本製品のWANポートをLANケーブルでつなぎます。

❷ 電源を接続します。

3 **本製品のPWRランプ/WANランプ/WLANランプが点灯/点滅していることを確認します。**

※電源をオンにしてからこのLEDの状態になるまで、約20〜30秒かかります。

4 **P21「3. 無線子機または有線LANから接続する」へ進みます。**

3 無線子機または有線LANから接続する

本製品に無線LANまたは有線LANで接続する方法を説明します。「無線子機の接続方法」をお読みになり、接続方法を確認して該当ページへ進んでください。

接続タイプを選択する

パソコンに内蔵の無線LAN機能を使う

→P22「パソコンに内蔵の無線LAN機能を使う」へ進みます。

ロジテック製のWPS搭載無線子機を使う

→P30「ロジテック製のWPS搭載無線子機を使う」へ進みます。

他社製の無線子機を使う

→P34「他社製の無線子機を使う」へ進みます。
※弊社製品でもWPS非搭載モデルについては、こちらをお選びください。

パソコンと有線LANでつなぐ

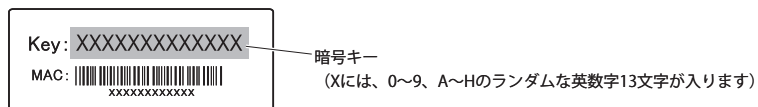
→P34「本製品を有線LANで使う」へ進みます。

パソコンに内蔵の無線LAN機能を使う

ここではWindowsとMacに分けて説明します。Mac版の説明はP27にあります。

Windowsの場合（Macの場合はP27へ）

※過去の接続状況によって表示される画面が異なることがあります。画面の説明を確認しながら接続してください。

1 製品本体に貼り付けてあるシールに記載された暗号キー13文字をメモしておきます。

パソコン側の無線LAN機能が「WPS」に対応している場合
ご使用のパソコンの無線LAN機能がWPSに対応していることがわかっている場合は、メモする必要はありません。

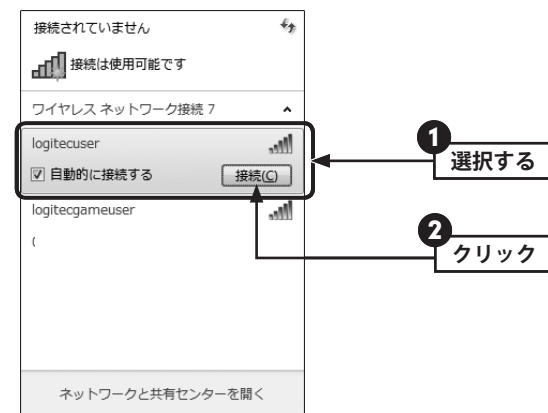
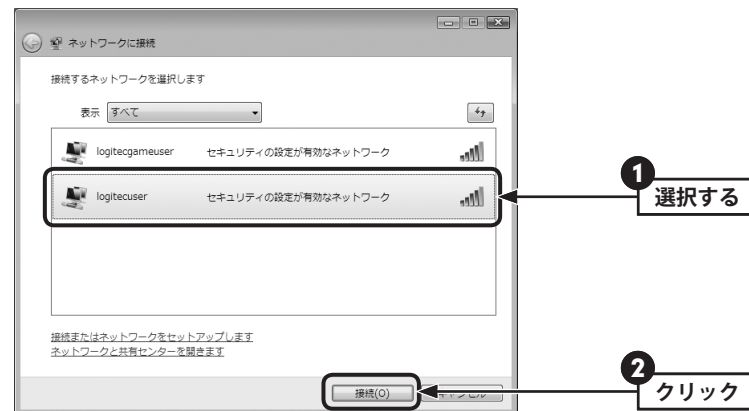
2 パソコンに無線LAN機能のオン/オフスイッチがある場合は「オン」にしておきます。

3 以下の方法でワイヤレスネットワークの接続画面を表示します。

◆Windows 7/Vistaの場合
Windows画面右下のタスクトレイにある「ネットワーク」アイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センター]を選択します。画面の[ネットワークに接続]をクリックします。

◆Windows XPの場合
Windows画面右下のタスクトレイにある[ワイヤレス ネットワークの接続]アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示]を選択します。

4 リストの「logitecuser」を選択し、 接続 をクリックします。

◆Windows 7の例

◆Windows Vistaの例

・電波の届く範囲に複数の無線APがあった場合、すべてが一覧に表示されます。本製品のSSID「logitecuser」を選択し、接続してください。
・「logitecgameuser」は、Wi-Fiゲーム機接続用のSSIDです。選択しないでください。

●logitecuser（ロジテックユーザー）とlogitecgameuser（ロジテックゲームユーザー）の違いについて

本製品と接続すると、logitecuserとlogitecgameuserが検出されます。パソコンやiPhoneなどで使用する場合は、セキュリティ度が高い「logitecuser」を選択してください。

●logitecuserが複数見つかった場合

近隣に同じSSIDの無線親機があります。電波の強いほうを選んでください。

※通信が安定しない場合は、SSIDの変更をお勧めします。

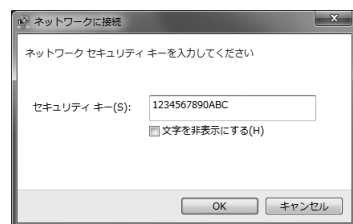
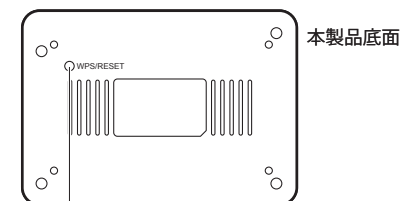
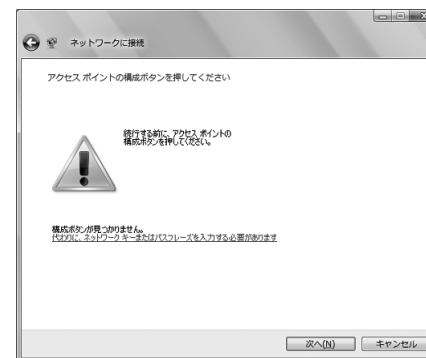
5　ご使用の環境によって、いずれかの画面が表示されます。それぞれの画面の説明へ進みます。

◆WPSの設定画面が表示されたとき

⇒手順 6-A へ進みます。

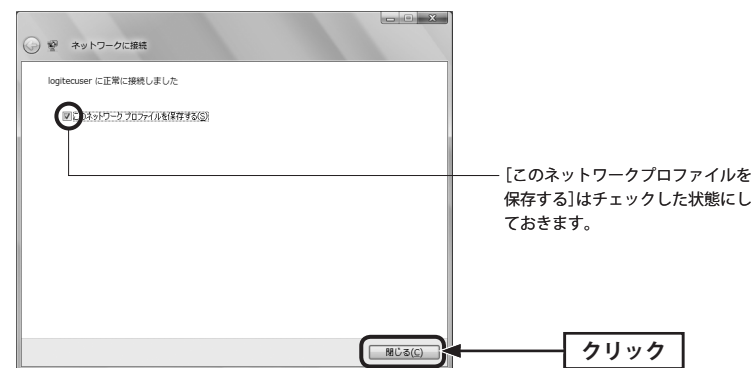
◆暗号キーを入力する画面が表示されたとき

⇒手順 6-B へ進みます。

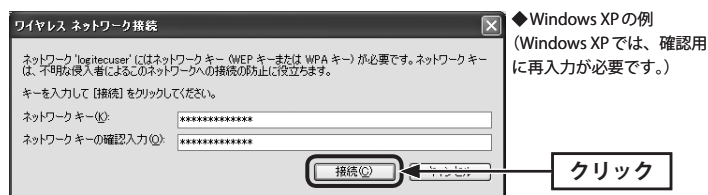
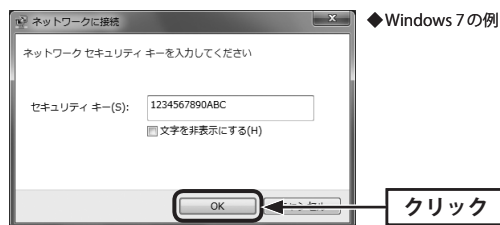
6-A　以下の❶〜❹の操作をします。

❶ この画面が表示された状態で、本製品底面にある「WPS/Resetボタン」をWPSランプが点滅するまで（約2秒）押します。点滅が始まったら離します。

❷ 次へ をクリックします。

❸ 閉じる をクリックします。

❹ 手順 7 へ進みます。

6-B 以下の❶〜❷の操作をします。

❶ メモしておいた暗号キー（英数字：すべて大文字）を入力し、[OK]または[接続]をクリックします。

◆Windows 7の例

◆Windows XPの例
（Windows XPでは、確認用に再入力が必要です。）

❷ 手順 **7** へ進みます。

7 再度、タスクトレイのワイヤレスアイコンをクリックし、接続状態になっていることを確認します。

OSのネットワーク接続の画面が表示されなかった場合

ご使用のパソコン本体のマニュアルに記載された無線LAN機能の設定方法をお読みになり、下記の設定値を参考に内蔵無線LANの設定をしてください。

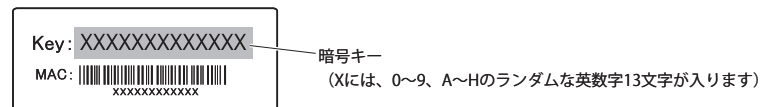
SSID	logitecuser ※1
暗号化方式	WPA-PSK（TKIP）またはWPA2-PSK（AES）※2
キーフォーマット	パスフレーズ
キー	製品本体に貼り付けてあるシールに記載された暗号キー13文字（0〜9、A〜Hのランダムな英数字13文字）

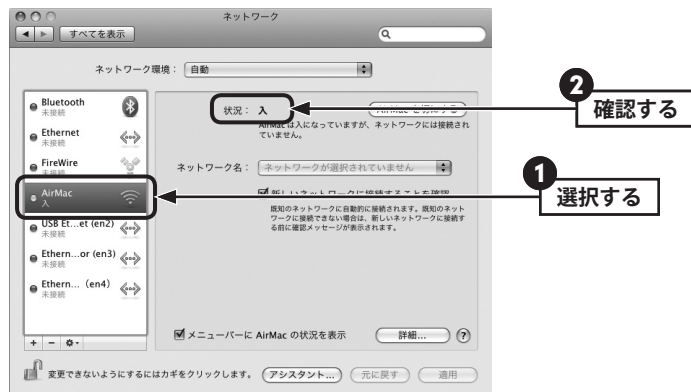
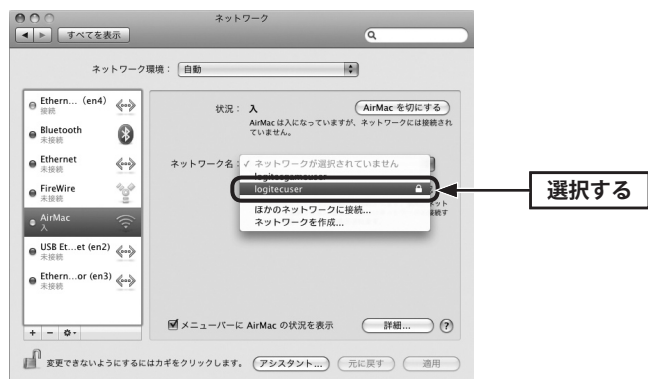
※1：接続画面には「logitecgameuser」も表示されますが、Wi-Fiゲーム機接続用です。選択しないでください。
※2：Logitec製無線ルータは、どちらの設定でも接続できるように設定されています。

8 P35「4.インターネットに接続する」へ進みます。

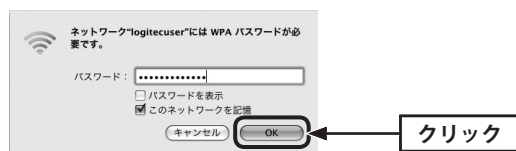
Macの場合（Windowsの場合はP22へ）

AirMacで本製品に接続する方法を説明します。

1 製品本体に貼り付けてあるシールに記載された暗号キー13文字をメモしておきます。

2 〈システム環境設定〉画面を開き、［ネットワーク］をクリックします。

3 AirMacの［状況］が「入」になっていることを確認します。

4 ［ネットワーク名］のリストを開き、リストの中から「logitecuser」を選択します。

●**logitecuser（ロジテックユーザー）とlogitecgameuser（ロジテックゲームユーザー）の違いについて**
本製品と接続すると、logitecuserとlogitecgameuserが検出されます。MacやiPhoneなどで使用する場合は、セキュリティ度が高い「logitecuser」を選択してください。

●**logitecuserが複数見つかった場合**
近隣に同じSSIDの無線親機があります。電波の強いほうを選んでください。
※通信が安定しない場合は、SSIDの変更をお勧めします。

5 メモしておいた暗号キー（英数字：すべて大文字）を入力し、［OK］をクリックします。

6 AirMacの［状況］が「接続」になっていることを確認します。［適用］をクリックし、画面を閉じます。

7 P35「4.インターネットに接続する」へ進みます。

ロジテック製のWPS搭載無線子機を使う

Windowsの場合（Macの場合はP32へ）

※過去の接続状況によって表示される画面が異なることがあります。画面の説明を確認しながら接続してください。

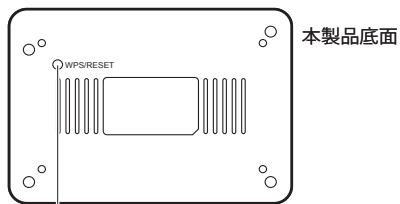
無線子機のマニュアルをご用意ください
ここでは、無線子機を本製品に無線LANで接続できるようにするための作業の流れを説明しています。詳細な設定方法については、無線子機に付属のマニュアルでご確認ください。

1　ご使用になる無線子機のドライバおよびユーティリティのインストールを完了しておきます。

・それぞれの製品に添付の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」などをお読みください。
・はじめて接続する場合は、なるべく無線子機と無線親機を近づけて作業をしてください。1〜3mぐらいが目安です。

2　タスクトレイにある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンをクリックします。

・〈Logitecクライアントユーティリティ〉画面が表示されます。

3　本製品底面にある「WPS/Resetボタン」をWPSランプが点滅するまで（約2秒）押します。点滅が始まったら離します。

WPS/Reset ボタン
※5 秒以上、押し続けると本製品が初期化されますので、ご注意ください。

4　無線子機側のWPS機能を実行します。詳細な手順は無線子機側の「かんたんセットアップガイド」などをお読みください。

❶「Logitecクライアントユーティリティ」のツールバーにある[WPS]をクリックします。
❷〈WPS〉画面の［WPS］（またはPBC）をクリックします。

※画面はLAN-W150N/U2Mの例です。

❸ 正常に接続できると、ステータスに「Progress >> 100%」と表示されます。

※画面はLAN-W150N/U2Mの例です。

❹ [×] をクリックして画面を閉じます。
❺ P35「4.インターネットに接続する」へ進みます。

Macの場合（Windowsの場合はP30へ）

無線子機のマニュアルをご用意ください

ここでは、無線子機を本製品に無線LANで接続できるようにするための作業の流れを説明しています。詳細な設定方法については、無線子機に付属のマニュアルでご確認ください。

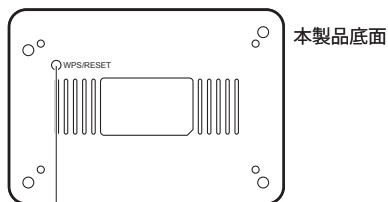
1　本製品に接続する無線子機が使用できる状態にしておきます。

・それぞれの製品に添付の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」などをお読みください。

・はじめて接続する場合は、なるべく無線子機と無線親機を近づけて作業をしてください。1〜3mぐらいが目安です。

2　Dockにある無線LANのユーティリティを起動し、メイン画面を表示します。

・見あたらない場合は、アプリケーションフォルダから起動します。

3　本製品底面にある「WPS/Resetボタン」をWPSランプが点滅するまで（約2秒）押します。点滅が始まったら離します。

WPS/Reset ボタン

※5秒以上、押し続けると本製品が初期化されますので、ご注意ください。

4　ユーティリティの【WPS】タブをクリックします。

※画面はLAN-W150N/U2Mの例です。

5　WPS または PBC をクリックします。

※画面はLAN-W150N/U2Mの例です。

6　正しく接続できると、接続インジケータなどの表示に変化があります。

※画面はLAN-W150N/U2Mの例です。

・確認できれば画面を閉じます。

7　P35「4.インターネットに接続する」へ進みます。

他社製の無線子機を使う

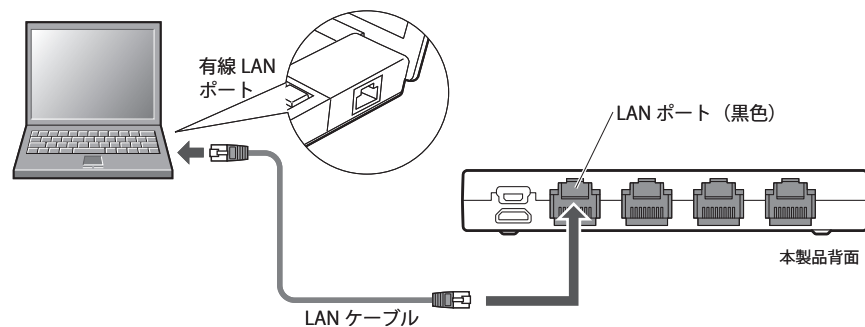
無線子機に付属の説明書をお読みになり、接続可能なアクセスポイントの中から、本製品のSSID「logitecuser」に接続してください。
本製品と無線子機の接続が完了すれば、P35「4.インターネットに接続する」へ進みます。

SSID	logitecuser ※1
暗号化方式	WPA-PSK（TKIP）またはWPA2-PSK（AES）※2
キーフォーマット	パスフレーズ
キー	製品本体に貼り付けてあるシールに記載された暗号キー13文字 （0〜9、A〜Hのランダムな英数字13文字）

※1　接続画面には「logitecgameuser」も表示されますが、Wi-Fiゲーム機接続用です。選択しないでください。
※2　Logitec製無線ルータは、どちらの設定でも接続できるように設定されています。

本製品を有線LANで使う

1 **あらかじめパソコンに内蔵（または取り付け）された有線LANアダプタが正常に動作していることを確認しておきます。**

2 **本製品の背面にあるLANポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルでつなぎます。**

3 **P35「4.インターネットに接続する」へ進みます。**

4 インターネットに接続する

本製品と無線子機または有線クライアントの接続が完了したら、インターネットに接続するための設定をします。

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

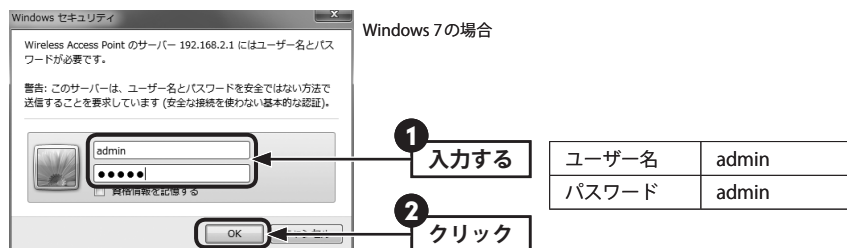
ご契約のインターネット回線によっては、自動的にインターネットに接続することがあります。正常に接続できた場合は、この先の作業は必要ありません。

2 **Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。**

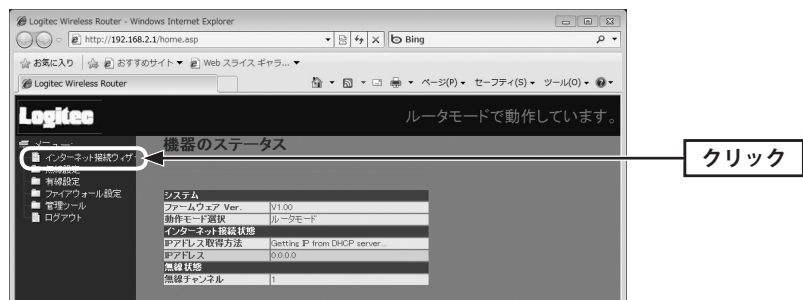
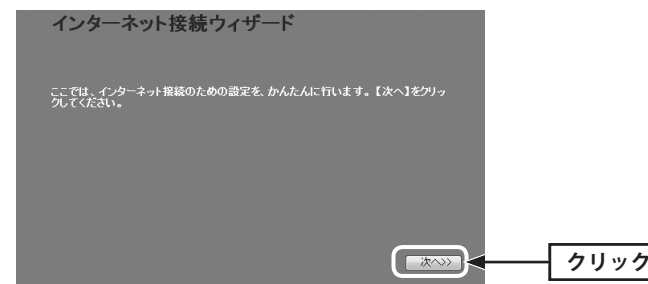
・認証画面が表示されます。

アドレスを入力しても接続先が見つからなかった場合
フレッツ光やフレッツADSLなど「PPPoE接続」でインターネットをご利用の場合で、アドレスを入力しても接続先が見つからない場合は、本製品（弊社ルータ）にPPPoEの設定をする必要があります。
Internet Explorer上部にある［ツール］→［インターネットオプション］を選択し、【接続】タブで「ダイヤルしない」にチェックを入れ、［OK］をクリックしてください。
※NTT西日本の「フレッツ光プレミアム」では、この設定は不要です。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。

ユーザー名	admin
パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P73「パスワード設定 画面」）。

4 左メニューにある［インターネット接続ウィザード］をクリックします。

5 次へ をクリックします。

6 ご契約しているインターネットサービスの回線種別を選択します。

DHCP	DHCP機能を利用するプロバイダの場合に選択します。Yahoo!BB、ケーブルTV、フレッツ光プレミアムなどが含まれます。	手順 8 へ
PPPoE	PPPoE接続を利用するプロバイダの場合に選択します。NTTフレッツ、ひかりoneなどが含まれます。 ※フレッツ光プレミアムは「DHCP」になります。	手順 7 へ
固定IP	プロバイダなどからオプションで、「固定IPサービス」を受けられる場合に選択します。	手順 7 へ

7　必要な情報を入力します。

■PPPoEを選択した場合

ご契約のプロバイダより提供されたユーザー名（ユーザIDなど）とパスワードを入力します。

■固定IPを選択した場合

プロバイダから提供された、IPアドレス、サブネットマスク等の情報を入力します。

8　設定が終われば、完了（Finished）をクリックします。

・システム設定の変更に成功したことを知らせるメッセージが表示されます。
・起動が完了するまで、お待ちください。
・インターネットウィザードの最初の画面に戻ります。

9　お好みのホームページを開きます。

10　ページが表示されたら作業は完了です。

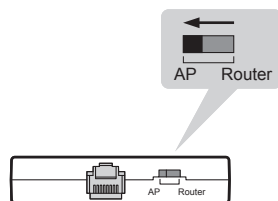
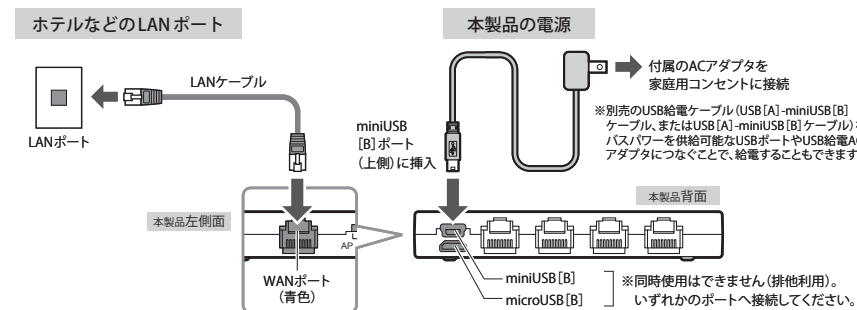
マルチPPPoE、IPv6には対応していないため、ひかりTV、フレッツ・スクウェア、フレッツウイルスクリアはご利用いただけません。

5 ホテルなど外出先のLANポートを利用する

本製品を無線アクセスポイントとして利用できる「APモード」を装備しています。本製品を「APモード」で使用することで、ホテルなどのLANポートを無線化し、無線機能を搭載したパソコンやスマートフォン、Wi-Fiゲーム機をコードレスでインターネットに接続することができます。

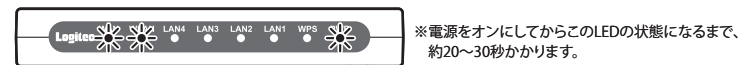
●LANポートと本製品の接続方法および設定方法は、このあとの「LANポートに本製品をつなぐ」をお読みください。
●パソコン/スマートフォン/Wi-Fiゲーム機から本製品への接続方法は、このマニュアルのP21「3. 無線子機または有線LANから接続する」または「セットアップガイド」P2〜6にあるそれぞれの接続方法をお読みください。
※すでに自宅などで接続確認済みの場合は、設定する必要はありません。

LANポートに本製品をつなぐ

1 本製品の電源を切った状態で、モード切替スイッチを「AP」側に設定します。

2 イラストを参考に本製品をつなぎます。

❶ ホテルなどに用意されたLANポートと、本製品のWANポートをLANケーブルで接続します。

❷ 電源を接続します。

3 本製品のPWRランプ/WANランプ/WLANランプが点灯していることを確認します。

※電源をオンにしてからこのLEDの状態になるまで、約20〜30秒かかります。

4 このあとは、以下の操作をおこないます。

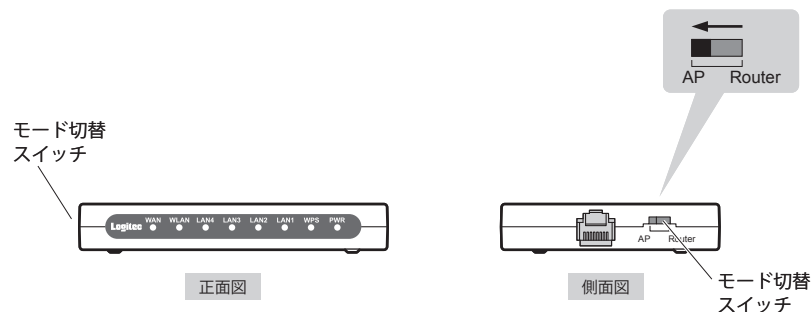
●パソコンから本製品へ接続する場合
P21「3. 無線子機または有線LANから接続する」にしたがって、パソコンから本製品への接続設定をおこないます。

●スマートフォン/Wi-Fiゲーム機から本製品へ接続する場合
「セットアップガイド」P4〜6にあるそれぞれの接続方法にしたがって、各機器から本製品への接続設定をおこないます。

Chapter 3

詳細設定 編

1 動作モードを変更する

ルータ機能がすでにある環境で、本製品を「APモード」に変更したい場合は、本製品の側面にある「モード切替スイッチ」でAPモードに切り替えます。初期値は「ルータモード」に設定されています。

2 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

・認証画面が表示されます。

アドレスを入力しても接続先が見つからなかった場合

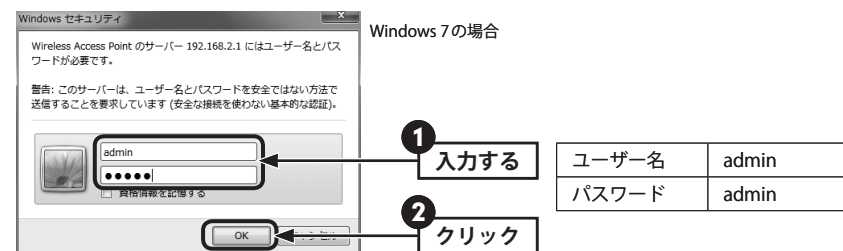
フレッツ光やフレッツADSLなど「PPPoE接続」でインターネットをご利用の場合で、アドレスを入力しても接続先が見つからない場合は、本製品（弊社ルータ）にPPPoEの設定をする必要があります。

Internet Explorer上部にある[ツール]→[インターネットオプション]を選択し、【接続】タブで「ダイヤルしない」にチェックを入れ、[OK]をクリックしてください。

※NTT西日本の「フレッツ光プレミアム」では、この設定は不要です。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。

Windows 7の場合

ユーザー名	admin
パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

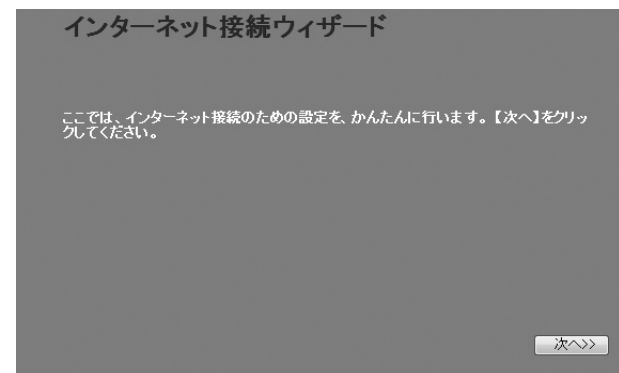
不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→ P73「パスワード設定 画面」）。

設定ユーティリティ画面の内容

メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→P47）
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定（→P48）、上級者向け設定（→P50）、セキュリティ設定（→P54）、無線アクセスコントロール（→P51）、WPS設定（→P53）があります。
有線設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN側設定（→P60）、WAN側設定（→P61）があります。
ファイアウォール設定	クライアントのMACアドレスを使ってアクセスをコントロールする「MACアドレスフィルタ」の設定ができます。（→P64）
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス（→P66）、統計（→P68）、ログ（→P69）、ファームウェア更新（→P70）、設定保存/読込（→P71）、パスワード設定（→P73）があります。
ログアウト	現在のログインユーザからログアウトします。（→P74）

3 インターネット接続ウィザード

インターネットに接続するための必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続ウィザードの使い方は、P35「4. インターネットに接続する」をお読みください。

画面左のメニューリストから［インターネット接続ウィザード］を選択します。

4 無線設定

本製品の無線LAN機能を設定します。

基本設定

 画面左のメニューリストから[無線設定]→[基本設定]を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

項目	内容
無線を無効にする	無線LANの設定をすべて無効にする場合にチェックします。チェックすると、無線LAN機能を使用できなくなります。（初期値：オフ＝無線LANが有効）
マルチSSID	本製品は、2つのSSIDを同時に使用することができます。SSIDごとにセキュリティレベルを変更することもできます。「logitecgameuser」が初期値として登録されています。設定方法は、P49「マルチSSIDを設定する」をお読みください。
SSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「logitecuser」が登録されています。
チャンネル幅	11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます※。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1～13chの中から選択します※。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（例）1ch/6ch/11ch
ブロードキャストSSID	「有効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「無効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「無効」にします。（初期値：有効）
関連クライアント	［通信中のクライアントPCを表示する］をクリックすると、無線クライアント（無線子機）のリストが別ウィンドウで表示されます。

※「40Mhz」に設定している場合、選択できるチャンネルは1～9chのみです。

〈通信中の無線クライアント一覧〉画面について

［更新］をクリックするとリストを最新の状態に更新します。［閉じる］をクリックすると、〈通信中の無線クライアント一覧〉画面を閉じます。

マルチSSIDを設定する

❶ ［マルチSSID］をクリックします。
❷「有効」をチェックします。
❸ SSIDに2つめのSSIDを入力します。初期値では「logitecgameuser」が登録されています。
❹ ブロードキャストSSID（上記の一覧表参照）を設定します。
❺ ［適用］をクリックします。このあとの操作はP48「設定を変更した場合」をお読みください。

通信中のクライアント

［表示］をクリックすると、ここで設定したSSIDで接続している無線クライアント（無線子機）をリストで表示します。

無線LANの上級者向け設定

無線LANの高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線LANに関する十分な知識が必要です。

 画面左のメニューリストから［無線設定］→［上級者向け設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●詳細設定　各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

項目	説明
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）
RTSしきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2347）
ビーコン間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を設定します。（初期値：100）
プリアンブルタイプ	無線通信の同期をとるプリアンブル信号の種類（長さ）を選択します。Short Preambleのほうが伝送速度を速くすることができます。ただし、古いタイプの無線クライアントを使用する場合などは、互換性を確保するために「Long Preamble」を選択します。（初期値：Long Preamble）
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。（初期値：100%）

アクセスコントロール

登録したMACアドレスを持つ無線子機とだけ無線LANで通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。有線クライアントも含めて制限したい場合は、P64「MACアドレスフィルタ画面」をお読みください。

 左のメニューリストから［無線設定］→［アクセスコントロール］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

項目	説明
無線アクセスコントロール機能	「無効」･･･アクセスコントロール機能を使用しません。 「許可」･･･［無線アクセスコントロールリスト］に登録したMACアドレスを持つ無線子機だけが無線LANで接続できます。 「拒否」･･･［無線アクセスコントロールリスト］に登録したMACアドレスを持つ無線子機との無線LAN接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への無線LAN接続を許可または拒否する無線子機のMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機を区別するのに便利です。

●無線アクセスコントロールリスト

登録内容をリストで表示します。

MACアドレス	本製品への無線LAN接続を許可または拒否する無線子機のMACアドレスです。
メモ	入力したコメントを表示できます。
選択	登録内容を消去する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックしたあと、更新 をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックしたあと、更新 をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

無線子機の登録方法

❶ [無線アクセスコントロール機能]で[許可]または[拒否]を選択します。
❷ 無線子機のMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
❸ 無線子機を区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❹ 適用 をクリックします。このあとの操作はP51「設定を変更した場合」をお読みください。
❺ 登録する無線子機が複数ある場合は、❶〜❹を繰り返します。

WPS機能の設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。

画面左のメニューリストから[無線設定]→[WPS設定]を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●WPS設定

WPSを無効にする	WPS機能を無効にする場合にチェックします。（初期値：オフ）
WPSステータス	現在のWPS設定の状態を表示します。
未設定に戻す	WPS設定を初期値に戻します。
PINコード	本製品のPINコードを表示します。
ボタンで設定	実行 をクリックすることで、WPS機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」を押すのと同じことです。
現在の設定	現在のセキュリティ設定の状態を表示します。
クライアントのPINコードで設定	本製品側で無線子機のPINコードにあわせる場合に、ここに無線子機側のPINコードを入力し、実行 をクリックします。

5 セキュリティを設定する（無線の暗号化）

無線LANで使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境でWPA-PSKまたはWPA2-PSKが使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK（TKIP）とWPA2-PSK（AES）が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PKS（TKIP）とWPA2-PSK（AES）の混在環境に対応します。

WEPの設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［セキュリティ設定］を選択します。

◆WEP選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

1 ［暗号化］で、［WEP］を選択します。

2 認証方式を選択します。

・わからない場合は「Auto」を選択します。

3 ［キー長］でセキュリティ強度を選択します。通常は128bitを選択します。

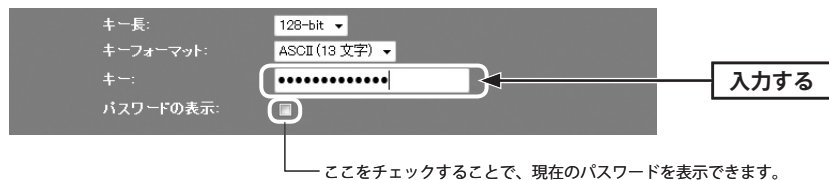
ご使用になる無線子機が64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線子機に1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

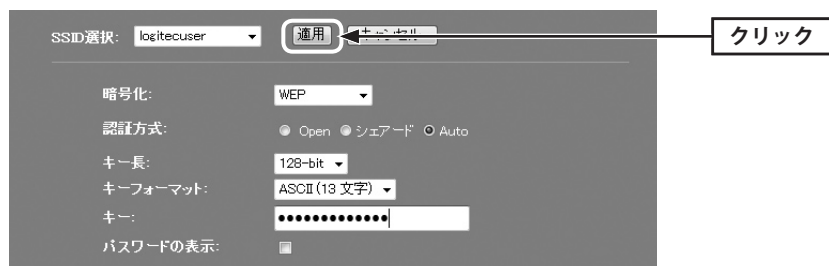
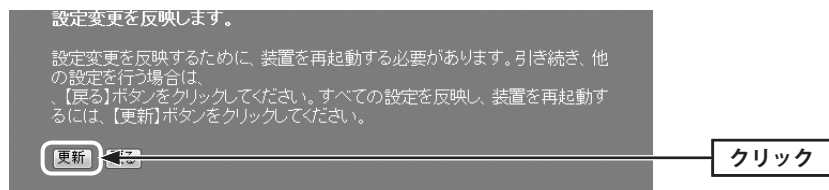
4 ［キーフォーマット］で暗号化キーの入力形式を選択します。

・ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII（5文字）	キー長で64bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII（13文字）	キー長で128bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、半角英数字13文字を入力します。
Hex（10文字）	キー長で64bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、16進数10文字を入力します。
Hex（26文字）	キー長で128bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、16進数26文字を入力します。

※16進数とは、0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

5 **手順 4 で選んだ入力形式で、暗号化キーを入力します。**

・ASCIIの場合は大文字と小文字が区別されます。Hexの場合は大文字と小文字は区別されません。

6 **すべての設定が終われば 適用 をクリックします。**

7 **「設定変更を反映します。」と表示されます。 更新 をクリックします。**

8 **待ち時間が表示され、0秒になると自動的に<セキュリティ設定>画面に戻ります。**

9 **これで本製品のWEPによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。**

・無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

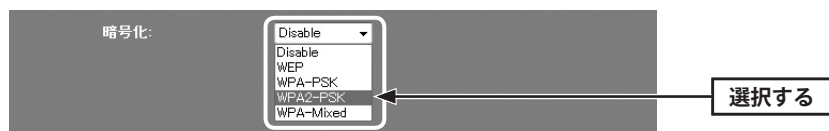
WPA-PSK/WPA2-PSKの設定

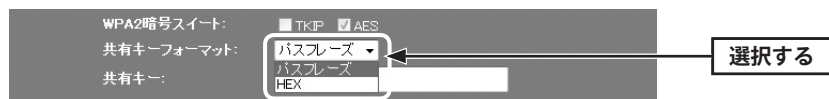
WPA-PSK（TKIP）またはWPA2-PSK（AES）を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［セキュリティ設定］を選択します。

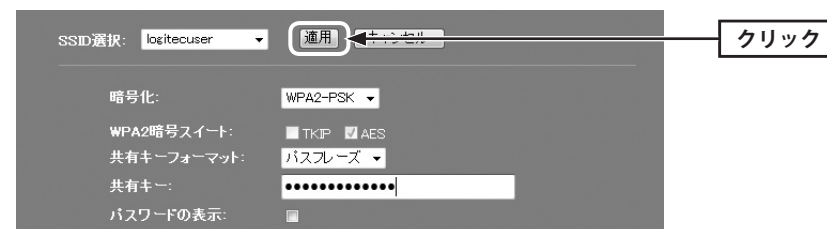
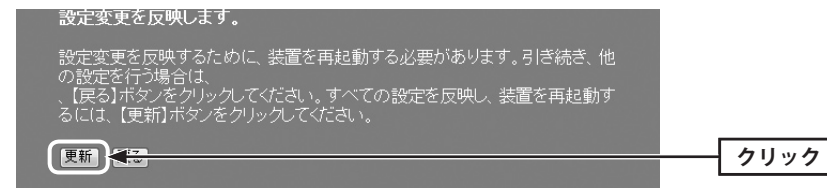
◆WPA2-PSK選択時の設定画面

1 ［暗号化］で、［WPA-PSK］、［WPA2-PSK］または［WPA2-Mixed］を選択します。

WPA-PSK	WPA-PSKを使用します。［WPA暗号スイート］は、自動的に「TKIP」になります。「AES」は選択できません。
WPA2-PSK	WPA2-PSKを使用します。［WPA2暗号スイート］は、自動的に「AES」になります。「TKIP」は選択できません。
WPA2-Mixed	無線クライアントにWPA-PSK（「AES」または「TKIP」）とWPA2-PSK（「AES」または「TKIP」）が混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK（TKIP）」の場合も、こちらを選択します。

2 ［共有キーフォーマット］で、共有キーの入力形式を選択します。

パスフレーズ	半角英数字（8～63文字）を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
HEX（64文字）	16進数64文字（固定）を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

※16進数とは、半角英数字の0～9、a-fを組み合わせた文字列です。

3 ［共有キー］に、手順 **2** で選択した入力形式で文字列を入力します。

4 すべての設定が終われば ［適用］ をクリックします。

5 「設定変更を反映します。」と表示されます。 ［更新］ をクリックします。

6 待ち時間が表示され、0秒になると自動的に<セキュリティ設定>画面に戻ります。

7 これで本製品のWPAによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

・無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

6 有線設定

有線のLANポートおよびWANポートに関する設定をします。

LAN側設定 画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

画面左のメニューリストから［有線設定］→［LAN側設定］を選択します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

項目	説明
装置のIPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。 初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルト ゲートウェイ	インターネットなどLANから外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルータのLAN側IPアドレスを入力します。

WAN側設定 画面

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。APモードを使用している場合、メニューリストにこの項目は表示されません。

画面左のメニューリストから［有線設定］→［WAN側設定］を選択します。

●「DHCP」を選択した場合　※画面イメージは上記参照

項目	説明
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1400〜1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1492）
DNSサーバの設定	**●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する** プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 **●次のDNSサーバを使用する** プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2個の場合は「DSN1」「DNS2」にそれぞれアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「PPPoE」を選択した場合

ユーザ名	プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。 ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 （例）　userID123 @ logitec.ent ユーザ名　プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1300～1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
DNSサーバ設定	●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ●次のDNSサーバを使用する プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2個の場合は「DSN1」「DNS2」にそれぞれアドレスを入力します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定IP」を選択した場合

IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ	プロバイダから提供された情報を入力します。
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1400～1500）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1500）
DNS1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

7 ファイアウォール設定

MACアドレスフィルタ 画面

本製品に接続する無線子機および有線クライアントのアクセスをコントロールします。ここに登録されたMACアドレスを持つ無線子機および有線クライアントは、本製品に接続することができなくなります。第三者の不正アクセスの防止などに役立ちます。無線子機のアクセスだけをコントロールする場合は、P51「アクセスコントロール」をお読みください。

画面の表示　**左のメニューリストから［ファイアウォール設定］→［MACアドレスフィルタ］を選択します。**

MACアドレスフィルタ

MACアドレスフィルタを有効にする

MACアドレス:　メモ:

適用　キャンセル

現在の設定:

MACアドレス　メモ　選択

選択したものを削除　全て削除　キャンセル

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

MACアドレスフィルタを有効にする	この項目をチェックすると、登録したMACアドレスを持つ無線子機および有線クライアントから本製品への接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への接続を拒否する無線子機および有線クライアントのMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機および有線クライアントを区別するのに便利です。

●現在の設定

登録内容をリストで表示します。

MACアドレス	本製品への接続を拒否する無線子機および有線クライアントのMACアドレスです。
メモ	入力したコメントを表示できます。
選択	登録内容を消去する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	［選択］をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
全て削除	リストの無線子機および有線クライアントをすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
キャンセル	［選択］のチェックをすべてクリアします。

無線子機や有線クライアントの登録方法

❶ ［MACアドレスフィルタを有効にする］をチェックします。
❷ 無線子機または有線LANクライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
❸ 無線子機や有線クライアントを区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❹ 適用 をクリックします。
❺ 登録する無線子機や有線クライアントが複数ある場合は、❶〜❹を繰り返します。

8 管理ツール

機器のステータス 画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面左のメニューリストから[管理ツール]→[機器のステータス]を選択します。

●システム

Uptime	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェア Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。
Build Time	ファームウェアの作成日を表示します。
動作モード選択	本製品の現在の動作モードを表示しています。

●無線 設定状況

モード	現在の無線における通信モードを表示します。本製品で使用できるモードはAP（Access Point）モードだけです。 ※ルータ機能の有効/無効に関係なく「AP」と表示されます。
帯域	無線LANで使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	このSSIDに接続している無線子機の数です。

●Virtual AP1 設定状況（マルチSSID機能による2つめのSSIDの設定）

帯域	無線LANで使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中のマルチSSIDのSSIDを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	本製品に接続している無線子機の数です。

●LAN側設定

IPアドレス取得方法	LAN側のIPアドレス取得方法を表示します。
IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
DHCPサーバ	DHCPサーバ機能の有効/無効を表示します。
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

●WAN側設定

IPアドレス取得方法	WAN側のIPアドレス取得方法を表示します。
IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

統計 画面

各種統計情報を表示します。 更新 をクリックすると統計情報を最新の状態に更新します。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［統計］を選択します。

Virual AP1	本製品から見たマルチSSID機能の2つめのSSIDにおける、パケット送信数（Sent Packets）と受信パケット数（Received Packets）を表示します。
Ethernet LAN	本製品から見たLAN側における、パケット送信数（Sent Packets）と受信パケット数（Received Packets）を表示します。
Ethernet WAN	本製品から見たWAN側における、パケット送信数（Sent Packets）と受信パケット数（Received Packets）を表示します。

ログ 画面

本製品のシステムログを記録することができます。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［ログ］を選択します。

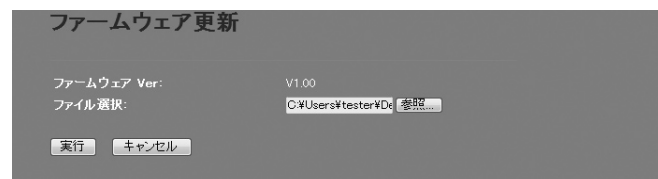
ログ機能を有効にする	この項目をチェックすると、ログの取得を有効にします。 （初期値：オフ＝ログを取得しない） 有効にした場合は、ログの取得内容を選択します。 システムログ：システム全体のログを取得します。 無線ログ：無線LANに関するログのみを取得します。
適用	上記項目の設定を変更した場合にクリックします。 画面のメッセージに従って変更内容を保存してください。
更新	ログの内容を更新します。
キャンセル	記録されているログを消去します。

※システムログにチェックを入れた場合、無線ログは記録されません。

ファームウェア更新 画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Web サイトのサポートページよりダウンロードできます。

左のメニューリストから［管理ツール］→［ファームウェア更新］を選択します。

ファームウェアの更新手順

❶ 弊社Webサイトなどからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
❷ 参照 をクリックします。
❸〈ファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
❹ 実行 をクリックします。
❺ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、OK をクリックします。
❻ アップデート中の注意事項が表示されますので内容を確認のうえ、OK をクリックします。
❼ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
❽ 本製品背面にある電源ジャックからACアダプタ、またはUSB給電ケーブルを抜き差しして電源を入れ直します。
本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。

設定保存/読込 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［設定保存/読込］を選択します。

設定の保存方法

❶ 保存 をクリックします
❷〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、保存 をクリックします。
❸〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、保存 をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。
❹〈ダウンロードの完了〉画面が表示されますので、閉じる をクリックします。〈設定保存/読込〉画面に戻ります。

設定の読み込み方法

保存した設定を読込:　C:¥Users¥testuser¥Des　参照...　読込

❶ ［保存した設定を読込］の 参照 をクリックします
❷ 〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
❸ 読込 をクリックします。
❹ しばらくすると「Update Successflly！」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に〈機器のステータス〉画面が表示されます。

設定を初期化する（工場出荷時の状態に戻す）

本製品の設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

初期化:　初期化実行

❶ ［初期化］の 初期化実行 をクリックします。
❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので OK をクリックします。
❸ しばらくすると「装置の設定を読み込みました!」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に〈機器のステータス〉画面が表示されます。

パスワード設定 画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［パスワード設定］を選択します。

●パスワードの変更をお勧めします
設定ユーティリティの無線LAN設定にある「セキュリティ設定」には、無線LAN用に設定したパスワードを表示できる機能があります。設定ユーティリティのパスワードが初期値のままだと、初期値でログインしてパスワードを自由に確認することができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください
変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

●新パスワードを空欄に設定した場合
新パスワードを空欄にして 適用 をクリックすると、認証画面でパスワードを入力しなくても、設定ユーティリティに接続することができます。セキュリティ強化のためログインパスワードを設定することをお勧めします。

設定の手順

❶ ［ユーザ名］に、新しく設定するユーザー名を入力します。
❷ ［パスワード］に、新しく設定するパスワードを入力します。
❸ ［新パスワード再入力］に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
❹ 適用 をクリックします
❺ 「Change setting successfully!」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
❻ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。
・〈機器のステータス〉画面が表示されます。

9 ログアウト

ログアウト 画面

設定ユーティリティからログアウトします。1台のパソコンを複数のユーザーで使用している場合、ログインしたままだと、他の人が設定ユーティリティにアクセスすることができます。設定終了後もパソコンを起動しておく場合は、必ずログアウトしてください。

画面左のメニューリストから[ログアウト]を選択します。

ログアウト

ログアウト

ログアウトの手順

❶ ログアウト をクリックします
❷ 認証画面が表示されます。
❸ 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。
・〈インターネット接続ウィザード〉画面が表示されます。

Appendix

付録編

1 こんなときは

無線LAN関係のトラブル

●無線LANがつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②本製品のセキュリティ設定やMACアドレスフィルタリング、アクセスコントロール設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリング、アクセスコントロールを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば､他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する無線子機および有線クライアントのIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合

❶［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：

接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続している無線子機や有線クライアントの種類によって表記は異なります。

Windows XP/2000の場合

❶［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続している無線子機や有線クライアントの種類によって表記は異なります。

3 基本仕様/おもな初期値

無線LAN部

規格	IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b / ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412～2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11n：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n適用時：最大300Mbps 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ（親機）
アンテナ方式	内蔵アンテナ2本
セキュリティ	SSID（ステルス設定可）、マルチSSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）、MACアドレスフィルタリング
設定方式	WPS（ボタン搭載）

WAN/有線LAN部

規格	IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、 IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	RJ-45×5ポート（WAN×1、LAN×4）
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ部

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット（WAN）接続方式	PPPoE認証接続、IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続
LAN接続方式設定	DHCPサーバ（有効/無効）、固定IPアドレス（手動設定）
セキュリティ	MACアドレスフィルタリング（拒否）

一般仕様

消費電力（定格）	1.8W
外形寸法	幅107.5×奥行68×高さ13.5mm（突起物を除く）
質量	約75g

●設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログイン時の ユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin

●有線LAN関係の工場出荷時の設定値（初期値）

LAN側IPアドレス	192.168.2.1（ルータモード/APモード共通）
DHCPサーバ機能	有効（割当IPアドレス範囲：192.168.2.100～192.168.2.200） デフォルトゲートウェイ：無線ルータのLAN側IPアドレス DNSサーバの通知：無線ルータのLAN側IPアドレス

●無線LAN関係の工場出荷時の設定値（初期値）

◆パソコン接続用

SSID	logitecuser
暗号化設定	WPAプレシェアード
WPA暗号スイート	WPA2 Mixed（WPA-PSKとWPA2-PSKの混在環境に対応）
共有キーフォーマット	パスフレーズ
共有キー	無線ルータ本体の底面にある暗号キーラベルに記載

◆Wi-Fiゲーム機接続用

SSID	logitecgameuser
暗号化設定	WEP
キー長	128bit
キーフォーマット	ASCII（13文字）
キーNo.	キー1
キー	無線ルータ本体の底面にある暗号キーラベルに記載

超小型無線LANルータ　LAN-W300N/PR5 series
ユーザーズマニュアル

発行

2011年2月4日　第1版